

1 国語に関する調査

【特長】

- ・インタビューをする場面で質問内容を検討する問題では、多くの生徒が正解しており、知りたいことを明確にするためには聞きたいことの整理などの準備が重要であることを理解していると考えられる。
- ・事象や行為、心情を表す語句について理解する問題では、多くの生徒が正解しており、文章の中で使われている語句に関心を持ち、語句の意味や使い方に対する認識を深めることができていると考えられる。

【課題】

- ・文脈に即して漢字を正しく書く問題に課題がある。字体、字形、音訓、意味や用法などの知識の習得だけでなく、他教科などの学習、日常生活での会話や書く場面で、漢字を正しく用いる態度と習慣を養うことが大切である。
- ・古典の原文と現代の作家が解釈を加えて書いた作品とを読み比べる場面において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える問題に課題がある。自分が感じたよさや工夫について、具体的な表現を取り上げて説明するなどの学習活動を増やす必要がある。

2 数学に関する調査

【特長】

- ・「データの活用」において、与えられた図や表から必要な情報を読み取ることについて、生徒は概ね理解していると考えられる。
- ・「図形」の領域では、条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることが比較的できている。

【課題】

- ・「数と式」の領域において、目的に応じて数や式を変形したり、その意味を読み取って事柄が成り立つ理由を説明したりすることに課題がある。数や式を的確に変形する力を育むことが大切である。
- ・「関数」の領域について、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。また、反比例の意味の理解が十分でないため、基礎的な知識の定着にも課題がある。

3 英語に関する調査

【特長】

- ・情報を正確に聞き取る問題では、文における基本的なイントネーションや区切りなどの音声の特徴を踏まえて、情報を聞き取ることができている。
- ・日常的な話題について、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて自分に必要な情報であるのか判断した上で聞き取ることができている。

【課題】

- ・情報を正確に読み取ることに課題がある。特に「事実・情報を読み取る」と「考えや意図を読み取る」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読む力を付けることが課題である。
- ・日常的な話題について短い文章の概要を捉える問題では、正確に概要を捉えることに課題がある。概要を捉える際には、各段落内の構成を捉えることが重要であり、その構成を捉えるために、文と文との関係を正確に読み取る技能を身に付ける必要がある。

4 生徒質問紙の結果より

【特長】

- 「学習の中で PC・タブレット等の ICT 機器を使うのは勉強に役立つと思いますか」という質問に肯定的な回答をする生徒の割合が高かった。各教科や総合的な学習の時間で ICT 機器の活用を積極的に行い、課題解決型学習を更に続けていきたい。
- 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていますか」という質問に肯定的な回答をする生徒の割合が高かったので、学習への達成感を得られるような支援を継続していきたい。

【課題】

- 「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に肯定的な回答をする生徒の割合が、比較的低かった。様々な活動の中で一人一人のよいところを認め、自己肯定感を持てるような指導をしていきたい。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に肯定的な回答をする生徒の割合が低かった。資源ごみ回収や地域の行事などへの参加を促し地域を大切にすることを育てたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ユニバーサルデザインを意識した授業改善を行い、すべての生徒が分かったと実感できる授業実践に取り組んでいく。
- 具体物や実生活を意識できる教材を工夫し、生徒に興味を持たせることで、主体的な学習態度を引き出すとともに、教えあい学びあう機会を多く取り入れることで、学習の定着を図っていく。
- あいさつを励行し、基本的な生活習慣の定着を図ることで、落ち着いた学校生活を送らせるとともに、自ら興味のあることに粘り強く取り組ませることで自己肯定感を育む。
- 教育相談を充実させ、困り感を持った生徒への支援充実に努めるとともに、いじめ防止プログラムやソーシャルスキルトレーニングを通し、他者理解を深められるようにする。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- インターネットやゲーム、スマートフォン等の扱いに関する家庭内のルールを確立し、生活リズムが乱れないよう留意してください。
- 家庭内での会話に学校からのたより（校長室通信、学年・学級通信、保健だより等）を取り上げて、お子さんとともに考え、他者との比較ではなく、お子さんが頑張ろうとしていることへの支援をお願いします。
- 学校や地域の行事が再開されつつあります。地域を誇りに思う心を育むために、生徒が地域で活躍できるようにお願いします。